

東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 第11回協議会報告

日時：令和2年7月20日（月）10:00～12:00

場所：竜王町役場 防災センター2階 大会議室

本協議会は、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するものへと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える「水防災意識社会」を再構築するため、多様な関係者が連携して、東近江圏域（近江八幡市・東近江市・日野町・竜王町）における洪水氾濫ならびに土砂災害による被害の軽減に資する取組を総合的かつ一体的に推進するための協議を行う場として設置しています。

1. 開 会

■会長代理の滋賀県 流域政策局 藤田局長の挨拶

令和2年7月豪雨においては、九州地方を中心に記録的な大雨となり、堤防の決壊などの災害が同時多発的に発生しました。特に熊本県球磨川においては特別養護老人ホーム「千寿園」の入居者14名がお亡くなりになりました。

このような状況の中、国土交通省はハード対策を含めた気候変動適応策の検討を推進していくため、気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会を設置され、今後も社会全体でとりくむ防災・減災対策の更なる強化と効率的な治水対策を実施するよう提言されました。

また、緊急治水対策プロジェクトという名称で、近年の洪水により激甚な被害を受けた河川について、国や県、関係市町村等が連携して流域全体でハードとソフトが一体となった対策を行うなど、今後は全国的に流域治水政策による水害対策が進んでいくものと考えています。

東近江圏域における防災力が更に向上しますよう、情報共有・意見交換をお願いいたします。



2. 主な議事

(1) 構成委員の変更について

東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会の構成委員の変更について、事務局より報告があり、承認されました。

(2) 2019年度の実施報告について

2019年度に東近江圏域で実施した取組として、①各市町における2019年度の実施状況、②要配慮者利用施設における避難計画の作成および避難訓練の実施、③想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成・周知、④水害・土砂災害リスクの高い地区における取組、⑤土砂災害防止法に基づく基礎調査の完了、⑥土砂災害警戒情報を補足する情報の提供、⑦ダム放流情報を活用した避難体系の確立、⑧市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実、⑨防災施設の整備、⑩地先の安全度マップの更新等について、県の各担当者から報告しました。

(3) 2020年度の実施予定について

2020年度に東近江圏域で実施予定の実施取組として、①要配慮者利用施設における避難計画の作成および避難訓練の実施、②水害・土砂災害ハザードマップの改良・周知・活用、③土砂災害危険箇所以外の抽出・基礎調査、④土砂災害リスクの現地表示、⑤防災施設の機能に関する情報提供の充実、⑥水害・土砂災害リスクの高い地区における取組、⑦重要水防個所の見直し及び水防資機材の確認、⑧防災施設の設備等について、県の各担当者から報告しました。

■質疑応答・意見交換（主な意見）

- 日野川ダムの直下流を含む最大クラスの浸水想定区域図が作成される際に、浸水の広がりがわかる時系列のデータなどを関係市町へ提供していただきたい。

（４）既存ダムの洪水調節機能強化（事前放流）について

既存ダムの洪水調節機能強化（事前放流等）の取組状況、事前放流の流れ、事前放流実施の基準、今後の対応、事前放流による効果（治水ダム）、農業用ダムにおける基本的な考え方について、県の各担当者から報告しました。

■質疑応答・意見交換（主な意見）

- ダムの事前放流や異常洪水時防災操作について、日野川は急激に水位が上昇する特性もあり、今後はお互いの情報交換をお願いしたい。
- 国交省あるいは県の土木交通部がつくる治水ダムと、農水省あるいは県の農政部がつくる農水ダムの横の連携やコントロールタワーをどうするのかを決めることが大切である。
- ダムの事前放流について、過去災害時（H25.18号台風）や梅雨時で検証をすればどうか。来年度のトップセミナーの時までに準備していただきたい。

（５）流域治水プロジェクト（国土交通省）について

あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換、「流域治水プロジェクト（仮称）」に基づく事前防災の加速、令和元年東日本台風関連、7水系緊急治水対策プロジェクトについて、報告しました。

（６）会議全般に関して

■質疑応答・意見交換（主な意見）

- 過去の水害例を見ると、北風の影響が非常に大きいというのが、地元の方たちの言い伝えになっており、この点について検討いただきたい。
- 西の湖堤防の地盤沈下が非常に問題になっています。安全なら低下しても問題ないと言ってあげれば良いし、問題があれば考えないといけない。
- ハード・ソフト面に対し、継続的な取り組みが必要である。善光寺川から上流の河川改修計画は、東近江土木事務所と定期的に協議し、竜王町役場も一緒に進めていきたい。
- 河川の浚渫や伐木をやっていかなければいけない。県に引き続きお願いしたい。
- 出雲川などの中小河川にも目を向けた取り組みをお願いしたい。また、日野町は特に土砂災害に注意しないといけない。町としてもやっていきたい。



<協議会写真>